

本調査の特徴

この調査の特徴は以下のようによまとめられます。

①時代による変化がわかる。

時系列で調査することを目的として企画されており、調査項目は毎回の調査で使用できるよう配慮している。

②幅広い学習指導の実態が把握できる。

学習指導や定期試験、評価の仕方など、学校における指導の実態だけでなく、家庭学習への指導法や教師自身の生活時間・教育観など、さまざまな内容の調査項目を盛り込み、幅広い意味での学習指導の実態を把握できる。

③調査対象の選定に配慮している。

調査対象地域を全国6地区から選定し、さらに都県庁所在地・その他の市部・郡部の3地域に分けて調査を実施した。

この調査に関するご意見・ご質問などございましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

〒206-8686 多摩市落合1-34 ベネッセ教育研究所 担当 高岡純子

TEL. 042-356-0840 (直通) / FAX. 042-356-7302

調査概要

1. 調査テーマ 中学校における学習指導についての実態調査
2. 調査時期 1997年12月～1998年1月
3. 調査地域 全国6地区
岩手県、新潟県、東京都、岡山県、福岡県、熊本県の
都県庁所在地・その他の市部・郡部
4. 調査対象 公立中学校教諭
(校長、教頭、助教諭、特殊教諭、養護教諭、講師などは除く)
上記6地区の教職員名簿をもとに系統抽出(無作為)を行った。

県別抽出数と有効回収数

	岩手県	新潟県	東京都	岡山県	福岡県	熊本県
抽出数	850	850	850	850	850	850
有効回収数	209	264	196	294	205	200

5. 調査項目
 - ①週5日制
月2回週5日制の導入への対応/学校週5日制が完全導入された場合の予測/授業内容・進め方の変化
 - ②学習指導
宿題の指導/家庭学習指導/新しい学習指導方法
 - ③評価と定期試験
「学習の記録」/定期試験
 - ④教育観と教職生活
教育観/生活時間
6. 方法と標本数 方法: 任意郵送法
配布数: 5,100通 有効回収数: 1,368通 回収率: 26.8%